

平成十九年度夏号

曹青 かわらばん

平成19年8月1日
山口県曹洞宗青年会
会長 大野 泰生

会長就任にあたって

五教区 善福寺住職 大野泰生

五月に開催された総会におきまして、会長に就任させて頂くことになりました。

いざ立場に立ってみますと青年会員が胸の内に、社会の多くの問題に青年僧侶としてなにか取り組んでいきたいという気持ちを持っていること、僧侶として自分を高めていきたいという気持ちをもっていることを強く感じました。

毎日の法務の中で時間を作りながらの活動になりますので、出来ることに限りはありますが、その気持ちをひとつでもふたつでも形にすることが出来ればと考えています。

しかし経験浅い青年僧侶です。ご迷惑をおかけすることもあります。ご迷惑、失敗から学ぶのが青年会と思っております。

普通救命講習報告

三教区 海印寺徒弟 角光全

去る五月二十八日、三教区・真福寺さまを会場に月例研修「普通救命救命講習」が開催され、当日は多数の曹青会員が真剣に講習に取り組みました。

過去にも人工呼吸、心臓マッサージなど、同様の講習がありました。この度はそれに加えAED(自動体外式除細動器)の使用方法について学びました。

AEDは電極パッドを胸に貼り付けると自動的に心電図を解析し、必要な場合にはスイッチを押して電気ショックを与えるよう機械が指示を出してくれるものです。

操作自体は簡単なもので、空港や駅構内、ホテルなどの公共施設で広く設置されているAEDはその場に居合わせた

慈悲の眼で暖かく見守って頂ければ幸いです。浅学非才の身ではありますが精進してまいりますので、ご協力宜しくお願い致します。

人が自由に使えるようになっていきます。しかし施行にあわせて心臓マッサージ、人工呼吸を継続して行うことが必要とされているため、自信を持って行うためには、こういった講習を定期的に行うことが必要不可欠だと思います。

※宗門内でも防災に関する動きが活発になっていきます。将来全てのお寺にAEDが設置される日が来るかもしれませぬ。ちなみにAEDの価格は、現在の所二〇万円〜四〇万円程度。



人工呼吸講習の様子

緑陰禅の集い報告

十二教区 観音寺徒弟 沖墨公慈

去る七月七日（土）、十一教区・大寧寺さまを会場に「緑陰禅の集い」を開催。八十名のご参加をいただきました。

開講式に引き続き、雨音の聞こえる心落ち着く静かな雰囲気の中、坐禅を行いました。

つづいてバーバグラヒ・ダツシュ先生（インド）を講師にお招きし、ヨガの指導をしていただきました。参加者の皆さんはリラックスした様子で楽しい時間を過ごしていらつしやいました。

精進料理の昼食を頂いた後、今回は正会員の石井龍祐師（四教区湘江庵住職）に法話をいただきました。温かいお話に参加者のみなさんが一生懸命に耳を傾けている姿が印象的でした。

また茶道、写経教室においても日常と違った体験に、みなさんは真剣な面持ちで取り組んでいらつしやいました。

今回もアンケートにご協力いただきましたのでいくつかご紹介致します。



西村和茂師による坐禅指導

「初めて参加しました。自分の年代の人達ももっとたくさん参加できるような案内をしていただけなら嬉しいです。」

（二十代・男性）

「日常生活の中では味わえない体験をさせていただきました。このような会のお陰で、お寺に親しみやすくなりました。少しずつですが、自分を見つめることも行つて生きたいと思えます。」

（三十代・女性）

「宗派に関係なく参加できたところが良いと思う。貴重な体験をさせていた

きありがとうございます。」

（四十代・女性）

「坐禅・写経・お茶・ヨガのすべてが初めての体験でしたが、素晴らしい景色の中で日本の心を学ばせていただきました。若い僧侶の方々が力を合わせての試みはとても良いことだと思います。ずっと続けていただきたいと思います。お食事もたいへんおいしかったです。」

（五十代・女性）

「忙しくしている毎日ですが、今日はホッとする時間が持てました。二回目の参加ですがまた来年を楽しみにしております。」

（六十代・女性）

「自分を改めて見直し、心新たに少しでも磨きたいと思いました。素晴らしい体験をさせていただきました。ありがとうございます。」

（七十代・女性）

「非常に準備よく実施され申し分ないです。ただヨガの時、先生がよく見えませんでしたので、本堂の真ん中で指導していただけたら参加者からよく見えて更に良いと思えました。」

（八十代・男性）

教育支援ボランティアについて

六月二十一日七教区瑞祥庵様におきまして、月例研修「教育支援ボランティアについて」の勉強会を行いました。

平成八年から始まったタイ山岳民族教育支援も十年を過ぎ、発足当時の様子を知る会員が少なくなりました。また募金も景気低迷のあおりを受けぎりぎりの状態が続いています。



この日、集まった二十余名が教育支援のチラシ発送作務に引き続き研修を行い、現状の認識を深め、今後の方向性を話し合いました。

- ・ クラフト販売に力を入れる（各教区の集いやフリーマーケットなどで販売させてもらう）
- ・ 募金の強化（各寺院での供養の際宣伝・協力させてもらう）
- ・ チャリティーの開催
- ・ 晋山などの引き物にクラフトを利用して頂くようお願いする。

このような多くの意見が飛び交いました。今後御寺院様に個別にお願いすることも多々あることと思いますが、協力宜しく願います。

SCDA子ども坐禅研修

七月二十三日三教区真福寺様におきまして、月例研修として「SCDA子ども坐禅会」に参加しました。

三教区若手を中心に発足したSCDA（みんなの周南を考える会）は、地域に根ざした活動の趣旨が認められ、市の生涯学習課主催のドリームスクール（希望制の子ども体験学習・周南市内の全小学中学にチラシが配布される）に参加を

呼びかけられました。市の行事に宗教的団体が認められたい少数の例です。

会員はまず早朝に趣旨の

勉強を行い、引き続き坐禅会に参加させていただきます。趣旨もさることながら、志して集まる子どもたちの熱心さが非常に印象的でした。

禅インサマーセミナー参加協力

七月二十五日から二十七日まで柳井におきまして、管区センター主催の「禅インサマーセミナー」が開催されました。青年会では今回は参加者の呼びかけなど側面的な協力を行いました。参加者子ども三十名、大人四名。



初日は瑞応寺の通元老師による坐禅指導・法話を頂き、夜には地元般若寺(真言宗)の住職より絵解きの話しを伺いました。二日目は午前「白壁の街」の散策、昼から海でカヌー体験、夜はキャンドルサーブスを行いました。最終日はフラワーランドでの体験学習を行い、最後にお別れパーティーをして解散となりました。

指導員が充実しているほか、リピーターや合宿に慣れた子が多かったこともあり、非常に和やかな会となりました。子どもたちは「坐禅で足が痛かった!」「カヌーおもしろかった!」「友だち沢山出来た!」「もう一泊したい」と最後まで元気があふれていました。管区センター・指導員の皆さんお疲れさまでした。

【各地の動き】

全国曹洞宗青年会

五月九日、東京檀信徒会館において総会が開催。役員改選で北海道の芳村元悟師が会長に就任。山口曹青からは角光全師(三教区海印寺)が青少年教化委員として出向することとなった。今後の活躍を期待する。

URL <http://www.sousei.gr.jp/>

中国曹洞宗青年会

五月三十日、広島において総会が開催。役員改選で広島宇田慈徳師が会長に就任。なお本年度、中曹青発足三十周年記念として「禅文化学林」を十月に松江にて開催することとなった。

西日本ソフトボール大会

六月六日、広島県三原において、広島曹青主催西日本ソフトボール大会が行われた。参加は二団体四チーム。二位・四位の結果となった。これを期に同好会を発足。今後は青年会・OBの有志により体力・親睦の向上を図る。

授戒会DVD頒布について

岐阜曹青が授戒会DVD・差定帳を五年越しで作成。山口曹青でクラフトとして頒布中。希望する場合は事務局までお知らせ下さい。頒布価格三万円。

【タイ山岳民族教育支援

募金クラフト販売状況】

五月九日(水) 三教区 興元寺さま

クラフト 57,700円

募金 26,720円

六月十八日(月) 県寺族研修会

山口市 ホテル松政

クラフト 50,400円

募金 39,251円

六月二十一日(木) 七教区瑞松庵さま

クラフト(経本) 100,000円

六月三十日(土) 梅花流山口県大会

新南陽ふれあいセンター

クラフト 98,900円

募金 424,973円

七月十日(火) 三教区特派布教

真福寺さま

クラフト・募金 27,391円

【今後の行事案内板】

宗務所研修旅行

(県梅花主催・県曹青後援)

日時 九月十日(月)～十四日(金)

行先 中国 天童山

全国曹洞宗青年会禅文化学林・

中国曹洞宗青年会いずも大会

日時 十月十日(水)～十一日(木)

場所 島根県松江市くまびきメッセ

問い合わせ先・山口県曹洞宗青年会事務局

下関市長府松小田中町九一四福昌寺内

電話・FAX〇八三二一四五一〇〇五四